

1 年 生 だ よ り

令和3年9月16日(木)

夢の宅配便

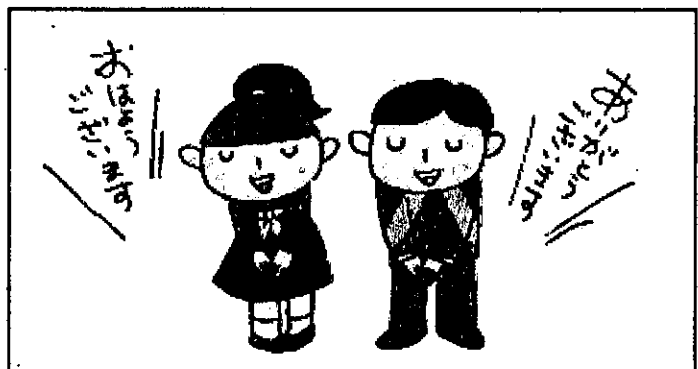
1 年 学 年 主 任

水野 喜代治

朝の昇降口…元気な挨拶が戻ってきました。

「1年生は、挨拶が良くできて素晴らしい。」と校長先生からよく褒められました。しかし、夏休みが明けて、9月1日に久しぶりにみんなと再開した時に「元気がないなあ!」と私は感じました。9月1日は、緊急事態宣言が出されていて、健康観察カードを昇降口でチェックしました。夏休み前は、1年生は先生方と会うと、生徒の方から「おはようございます。」「こんにちば。」と明るく声をかけてきたのに、夏休みが明けて先生方の方から「おはよう。」と声をかけても「おはよう。」と小さな声で帰ってくるようになってしまいました。昇降口で、先生方に見せる健康観察カードも無言で提出する生徒が目立ちました。新型コロナウイルスの感染を意識して、挨拶を控える生徒も多くいたと思います。でも、朝にお互い顔を合わせても無言でいる空気はやはり寂しいものを感じました。

朝昇降口に入ってくる時に、「みんなあいさつをしっかりと、無言で観察カードを差し出さないでね」と呼びかけたら、すぐに「おはようございます。」「よろしく願いいたします。」と明るい声が帰ってきました。いつもの1年生の雰囲気に戻ってきました。挨拶を交わすと自然と笑顔になります。普段特に意識せずに交わしている挨拶がこんなにも大切なのかとあらためて思いました。コロナ禍でいろいろなことを自粛しても生活している今、自粛はしても、なくしたりやめたりしてはいけないものがあると感じました。マスクをしっかりと、距離を十分にとって、挨拶はしっかりしましょう。コロナ禍だからこそみんなで消えないように守っていくものがたくさんあると思います。明るく挨拶して笑顔あふれる昇降口には、新型コロナウイルスも入り込めないと思います。



また、明日、昇降口から笑顔でスタートする朝が楽しみです。